The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	道の途中で ： 伸びる伸びる、そして台風
Author(s)	大貫, 惇睦
Citation	大阪大学低温センターだより. 2019, 169, p. 16-17
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/76738
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

道の途中で　–伸びる伸びる、そして台風–

琉球大学理学部　　大貫 惇睦＊

一昨年と昨年の台風は本土にも大きな被害をもたらしました。沖縄では台風の襲来は6月下旬から始まり、10月中旬まで続きます。山のない宮古島ではマンゴーの出荷前か、後かは生活のかかった大問題です。台風は海水を激しく攪拌するので、サンゴ礁には恵みのようです。台風25号というニュースを聞くと、「やれやれやっと終わりだな」と思い、その時期が10月中旬なのです。

特にこの2年間はとても大型でした。一昨年は9月まで大きな台風はなく、ある植物がめざましく生育しました。白い花を咲かせるリュウゼツランです。毎日のように何気なくトゲトゲの葉を目にしていましたが、特に興味はありませんでした。ところが10月に入って花の茎が伸びて伸びて、「アレー、こんなに伸びるものなのかなあー」とびっくりするくらい、およそ7mは伸びたでしょうか。どうも毎年白い花を咲かせる本土でよく見かけるリュウゼツランとは異なるようです。そう思うと、この7年間一度もこのリュウゼツランが咲くのを見たことはありませんでした。あとから聞いた話では50年に一度とか、滅多に咲かないようです。その後、1週間本土に出張している間に台風があり、帰ってきた時には花の茎は根元からへし折られ無残な姿でした。

昨年の台風では、台風の目を実感しました。宮古島まで南下した台風は、そのまま直進せず、なんと北上したのです。これも良くあるパターンの一つです。沖縄本島の真上ではなく、少し東寄りでした。大型の台風ですので猛烈な風と雨で、我が家の隣の公園のガジュマルの葉や枝のこすれ合う音は凄まじいものです。家の窓は、障子とガラス窓の外にスティール製の雨戸を閉めました。朝食後、停電になりました。我が家での停電は初めてのことです。全部閉め切っていますので部屋の中は真っ暗で、むなしく横になりました。ところが、お昼頃に風雨が急に止んだのです。おそるおそる玄関の戸を開けると、外は太陽の光が降りそそぎ、静けさの中にありました。雨戸を一部開けて、昼食をとりました。その後は寝ころびながら雨戸からの光で小説を読み、穏やかに時間は過ぎて行きました。夕方の5 時頃でしょうか、早めの夕食を取ろうとしたら急に暗くなり、ゴウゴウとした風雨の襲来です。あっという間のことで、外の雨戸を閉めるために玄関の戸を開けようとしましたが、風の勢いはとても強く開けることはできませんでした。ガラス窓に何かが打ち当たらなければ良いが、と思いつつ夜を過ごしました。夜中の3 時頃に急に電燈がつき、一日弱続いた停電が復旧したのです。翌朝、台風は沖縄から去っていました。

もしも台風の時速を20km/hで北上していたとして、5時間は陽が差していたので、つまり台風の目に入っていたとすると、台風の目の大きさは100kmとなります。これはおよそ沖縄本島の大きさに相当します。

沖縄では台風の襲来は毎年のことなので、樹木はそれに順応して生きているように思えます。沖

＊大阪大学名誉教授

縄の樹木は常緑樹ですが、台風は海水を伴った風と雨ですので、葉は枯れて落ちてしまいます。しかし、9月末から10月に芽を出して、12月末には元の緑の樹木に戻ります。本土では芽吹くのは4月でしょうが、沖縄では10月なのです。竹の子は9月に伸びて、10月中旬には太い竹では10mくらいまで育ちます。ところが、今回の大型台風でそれらはすっかりへし折られてしまいました。沖縄では屋敷に竹を植えることはしません。おそらく台風で折れてしまうからでしょう。したがって竹の子を食す習慣はありません。本土で育った私は4月になると無性に竹の子ご飯が食べたくなります。家内が本土から竹の子を持ち帰ってくるのを楽しみにしています。どこにでも自生して良く見かける竹は、高さ2〜3mの細い竹です。この竹は台風で折れることはありません。昔の住宅ではこの竹が屋根に良く使われました。

台風のない10月中旬から3月末までは、湿度も60%くらいに下がり、温度は1月でも16〜22℃でとても穏やかな気候です。40以上ある小さな離島を自転車で一周すると、海からの風がほほをなで、気分はとても爽やかになります。そして、身も心もカラッポになり、また元気が出てきます。皆さん沖縄にいらっしゃいませんか。

花茎が伸びて伸びたリュウゼツラン